

活動報告

団体名	公益財団法人 日本YMCA同盟
活動名	熊本地震による被災地および被災者の復興・支援活動
活動期間	2016年4月 ～ 2016年6月
活動の成果	<p>地震発生直後より熊本YMCAが指定管理者となっている益城町総合運動公園、御船町スポーツセンターへの被災者避難が始まり、益城町では一時期 1,500人を超える人が生活をするという完全なキャパオーバーの状態となりました。各地の施設の被災状況の確認もままならず、また避難所運営の協定や備えが無いという状況と、余震が続く環境の中でYMCAのスタッフ自身は、半数以上が被災しましたが、被災者の皆さんの命を守ることを第一に活動してきました。</p> <p>こういう状況で非常に大きな力となったのは全国のYMCAから被災地支援に関わった経験のある多くのスタッフがスピーディーに派遣され、避難所運営に直接入り込めたことです。各地のYMCAから総主事が現地に飛び、直接指揮をとりました。</p> <p>その活動を通じて高齢者、子どもたち、障がい者など社会的に弱い立場にいる方たちへの支援もすすめられ、次の段階である仮設住宅での生活につなぐことができました。まだまだ復興には時間がかかりますが、全国の組織の力を結集して被災された方の支えとなることを続けていきたいと思えます。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今回の活動の成果は、現場から刻々発信される被災者・被災地の状況とそのニーズに基づいて多くの企業・団体の皆さまから送っていただいた多種多様かつ大量の物資を活かして実際の支援に結びつけられたことです。「ボラサポ・九州」の助成により、全国のYMCAから被災地支援に関わった経験のある多くのスタッフがスピーディーに派遣され、避難所運営に直接入り込めたこと、また各地のYMCAから総主事が現地に飛び、直接指揮をとれたことが非常に大きな力となりました。</p> <p>感謝申し上げます。</p> <p>まだまだ現地の完全な復興には多くの時間を要します。</p> <p>現在も多くの学生・企業・団体の皆さまがボランティアとして瓦礫処理などに携わっていただいています。</p> <p>これからも継続したご支援をよろしくお願いいたします。</p>

(活動のようす)

